

アイランドシティの完成イメージ



(※イメージ図は、今後の設計協議等により、変更となることがあります。)

福岡市港湾空港局 アイランドシティ事業部事業管理課

〒812-8620 福岡市博多区沖浜町12-1
TEL:092-282-7035 FAX:092-282-7044
mail:jigyokanri.PHB@city.fukuoka.lg.jp

博多港開発株式会社

〒812-0031 福岡市博多区沖浜町12-1
TEL:092-263-0100 FAX:092-271-2393
mail:soumu@port-hakata.co.jp

[アイランドシティ魅力紹介サイト Wonderful One]

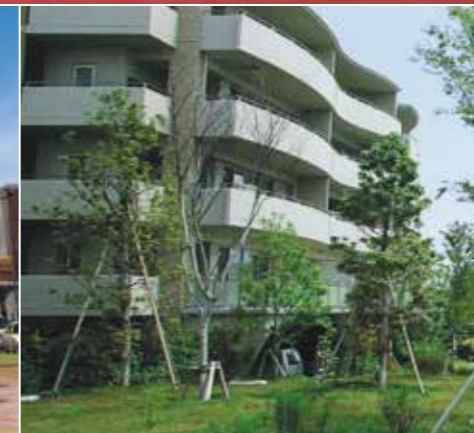
<https://www.city.fukuoka.lg.jp/kowan/jigyokanri/shisei/wonderfulone/top/top.html>

FUKUOKA ISLANDCITY

ふくおか アイランドシティ



未来は、もう始まっている。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

3 すべての人に健康と福祉を



11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を



21世紀の先進的モデル都市 —— アイランドシティ

たくさんの夢が集まる「未来」が、 いよいよ見えてきました。

アイランドシティは博多港の港湾機能強化を目的に、
 大水深の航路整備で生じるしゅんせつ土砂などを活用して誕生した都市空間です。
 この貴重な空間を活用して新しい「みなとづくり」「まちづくり」を行い、
 福岡市の将来をリードする先進的モデル都市づくりを進めています。
 アイランドシティは、九州・西日本における豊かな市民生活や地域経済の活性化に
 大きく貢献していきます。



福岡市は、アジア・世界へのゲートウェイ。

日本で最もアジアに近い都市——福岡市。福岡・博多のまちの歴史は、金印伝来で知られる約2,000年前の「奴国」までさかのぼり、その後、外交施設・迎賓館である「鴻臚館」の時代、博多商人を生んだ自由都市「博多」の時代など、福岡・博多のまちは「みなと」を核としながら、日本とアジアとの人・物・情報の交流窓口として栄えてきました。福岡市は、そうした地理的・歴史的特性を生かして、21世紀の「アジアの交流拠点都市」をめざし、アジア・世界へのゲートウェイとしてさらなる発展を遂げようとしています。



海の中道大橋



自動車専用道路
アイランドシティ線

平成14年10月に香椎パークポートからアイランドシティを經由して、雁の巣につながる道路が開通しました。その結果、雁の巣や和白方面から香椎・都心向けの所要時間が大幅に短縮されるとともに、慢性的に渋滞していた和白周辺の交通混雑が大幅に改善しています。また、令和3年3月には自動車専用道路アイランドシティ線が開通し、広域的なネットワークが形成されています。



アイランドシティまでの所要時間
 天神から……約17分
 福岡空港から……約15分
 福岡ICから……約9分
 ※都市高速道路を利用した場合

アイランドシティ整備事業の目的

みなと 港湾機能の強化
 私たちの暮らしや経済を支える博多港。世界とつながる国際物流拠点として港湾機能の強化を図ります。

住環境 快適な都市空間(住環境)の形成
 人と地球にやさしい住環境と活力あるコミュニティを創造します。

新産業 新しい産業の集積拠点の形成
 アジア・世界を見据えた新しい産業の集積拠点を形成し、福岡市の21世紀の活力を創造します。

交通 東部地域の交通体系の整備
 海の中道地区への道路を整備することにより、和白周辺の交通渋滞の緩和を図るなど、東部地域の交通体系整備へ寄与します。

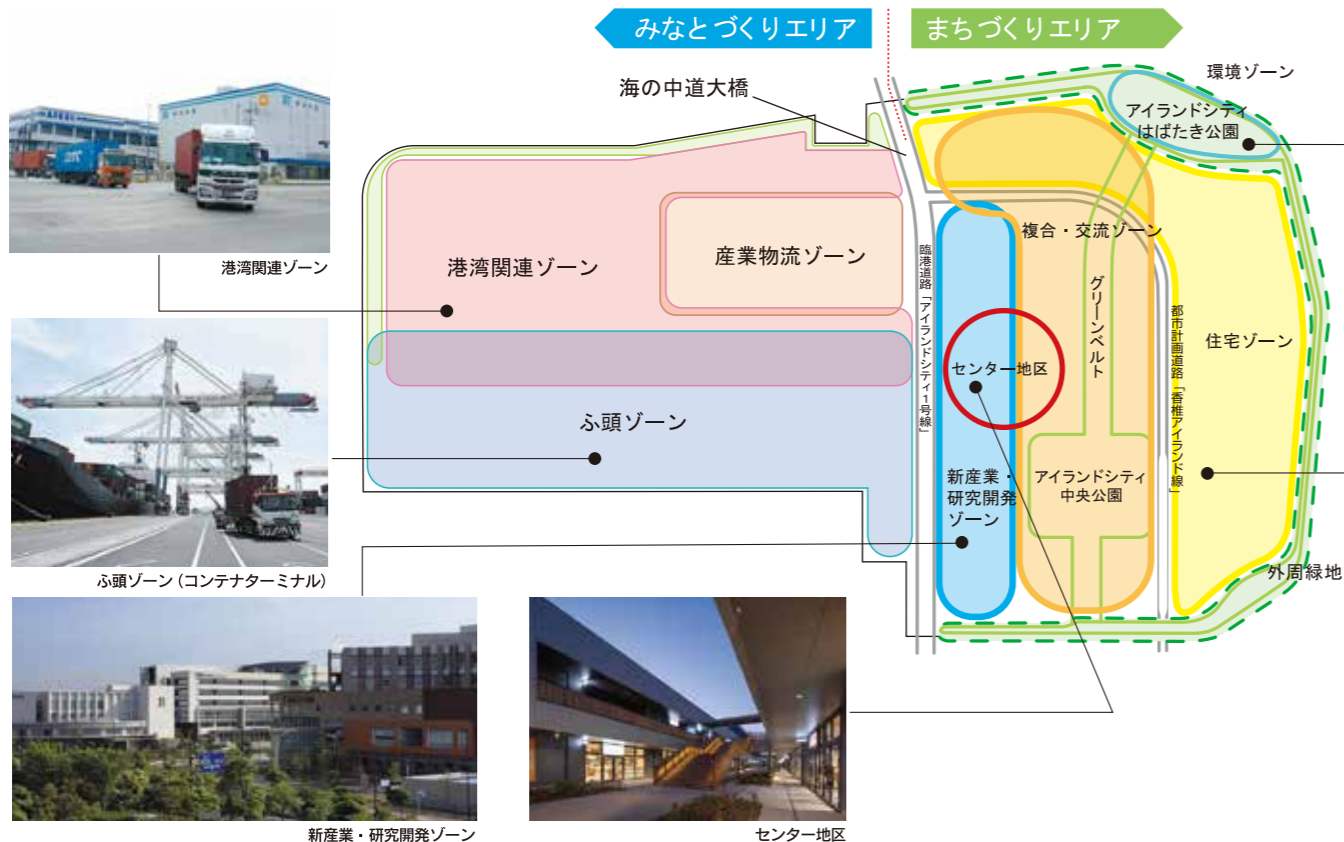
みなとづくりエリア

大型コンテナ船が接岸できる水深15メートルの岸壁や、九州最大・高規格のコンテナクレーン、国内初の電動トランスファークレーン、IT技術を積極的に活用した高度な物流情報システムなどを備えた高機能・高効率な最新鋭のコンテナターミナルを整備するとともに、その背後においては、高度な物流機能の集積を図るなど、世界とつながる国際物流拠点の形成をめざしています。

まちづくりエリア

誰もが快適な生活を営むことができる住宅地の整備や、環境との共生を図る豊かな緑地空間の整備など、質の高い都市空間づくりを行っています。また、福岡市の特性を活かし、高い成長性や裾野の広がりが期待できる健康・医療・福祉分野などに関する、新しい産業の集積拠点を形成するとともに、広域から人が集まる商業・業務機能、教育・文化・芸術等の情報発信機能などの多様な都市機能の誘導を図り、魅力ある都市づくりを進めています。

土地利用ゾーニング



土地利用

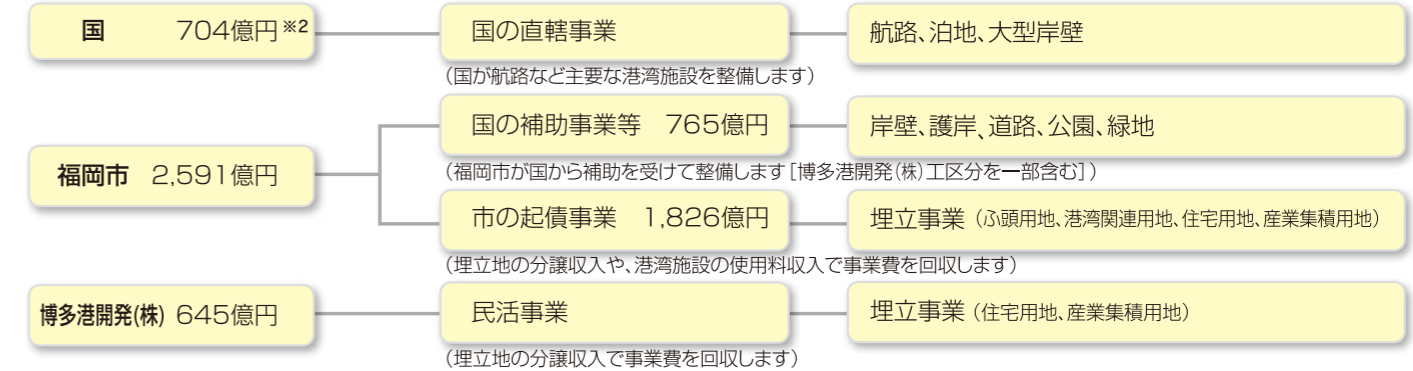
区分	内容
ふ頭ゾーン	コンテナターミナル等
港湾関連ゾーン	保管施設、複合型物流施設用地等
産業物流ゾーン	流通加工・展示施設用地等
新産業・研究開発ゾーン	健康・医療・福祉等新産業関連用地等
住宅ゾーン	住宅、教育施設用地等
複合・交流ゾーン	業務・商業、住宅用地等
環境ゾーン	公園・緑地等

アイランドシティの規模

アイランドシティを都心部にあてはめると、およそ博多駅から天神まですっぽり入る大きさです(約401ha)。これは能古島(399ha)とほぼ同じ面積です。

事業のしくみ

総事業費 3,940億円※1



※1.当初の総事業費は4,588億円

※2.航路・泊地の幅幅・増深(14m→15m)に係る事業費については、アイランドシティ・香椎パークポート間のみ含む。

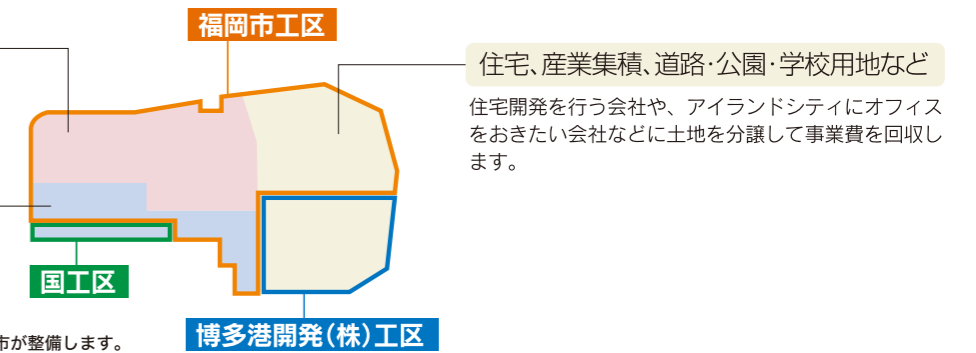
港湾関連用地

港の近くに物流センターや倉庫などをつくりたい会社などに土地を分譲して事業費を回収します。

ふ頭用地

コンテナターミナルなどの港湾施設を市がつくり、利用者からの使用料で事業費を回収します。

※道路・公園・学校など公共施設は、既成市街地と同様に市が整備します。



大きな夢に向かって、着々と進行しています

アイランドシティ整備事業は、平成6年に着手し、全体面積401.3haのおよそ99.8%（約400.6ha）の埋立てが竣功しています。

「みなとづくりエリア」では、九州・西日本地域の経済活動や市民生活を支えるため、コンテナターミナルの整備を進めるなど物流拠点の形成に取り組んでいます。

「まちづくりエリア」では、緑豊かな良好な住環境や小中連携校などの教育環境が評価され、1万4千人を超える方が生活するまちとなっています。産業の面では、健康・医療・福祉関連機能を有する施設や、大型商業・宿泊施設の立地により「賑わいとふれあいの場」の形成が進んでいます。

交通の面においても、バス営業所の開設や自動車専用道路の開通など、利便性の向上が進んでいます。

事業のあゆみ

平成元年	7月	博多港港湾計画改訂(島形式への変更)
平成6年	4月	公有水面埋立免許取得
	7月	工事着工
平成13年	7月	博多港港湾計画改訂(土地利用の変更)
平成14年	10月	アイランドシティ主要幹線道路の供用開始
平成15年	9月	C1 国際コンテナターミナルの供用開始
平成16年	3月	みなとづくりエリアへの民間企業進出(物流センター操業開始)
	4月	特定埠頭運営効率化推進事業の実施(コンテナターミナルの公設民営化)
平成17年	3月	博多港開発株旧2工区の埋立権を福岡市が譲り受け(市5工区)
	9月	「第22回全国都市緑化ふくおかフェア」(アイランド花どんたく)
	11月	「照葉まちびらきフェア」の開催
平成19年	12月	「照葉のまち」住宅への入居開始
	4月	「照葉小学校」開校、「サイバー大学」開学 「アイランドシティ中央公園」全面開園
平成20年	6月	「福岡ビジネス創造センター」開設(～平成29年3月)
	4月	「照葉中学校」開校
	7月	「臨海部物流拠点(ロジスティクスセンター)」を港湾計画に位置づけ
平成21年	10月	C2 国際コンテナターミナル(水深15m岸壁)一部供用開始
平成22年	5月	膝・股関節外科病院 開院
	7月	「照葉公民館・老人いこいの家」開館
平成24年	1月	C2 国際コンテナターミナル供用部分を拡張
	4月	民間保育所 開所
	10月	特別養護老人ホーム 開設
平成25年	10月	「アイランドシティ・アーバンデザインセンター」開設(～平成29年3月)
	3月	「CO2ゼロ街区(照葉スマートタウン)」まちびらき
	4月	「あいたか橋」(海上遊歩道)開通
平成26年	4月	民間幼稚園 開園
	3月	地域密着型高齢者施設 開設
平成27年	11月	アイランドシティ主要幹線道路の拡幅供用
	6月	「福岡市立こども病院」開院、調剤薬局 開設
	8月	高度・多機能型リハビリテーション病院 開院
平成28年	2月	メディカルビル 開設、温浴施設 開設
	2月	青果市場「ベジフルスタジアム」開場
	3月	博多港港湾計画改訂(土地利用の変更)
	4月	小規模保育事業所 開所、民間保育所 増設
平成29年	4月	C2国際コンテナターミナル全面供用開始
平成30年	1月	高度リハビリテーション施設 開設
	12月	「福岡市総合体育館」開館
平成31年	3月	バス営業所開設
	4月	「照葉北小学校」開校
令和元年	11月	住宅型有料老人ホーム 開設
令和2年	3月	商業・宿泊複合施設 開設
令和3年	3月	自動車専用道路アイランドシティ線開通
	9月	C2国際コンテナターミナル延伸部供用開始
令和5年	3月	D国際コンテナターミナル(C2岸壁延伸部拡張部)供用開始
令和6年	4月	「照葉はばたき小学校」開校 「アイランドシティはばたき公園」一部開園

アイランドシティ整備事業の進捗状況



温浴施設



宿泊施設



商業施設



福岡市総合体育館



アイランドシティ中央公園



あいたか橋 (海上遊歩道)



国際コンテナターミナル



物流関連施設



青果市場(ベジフルスタジアム)



自動車専用道路
アイランドシティ線
(福岡高速6号線)



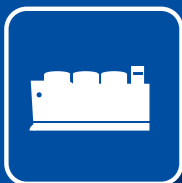
バス営業所



オフィスビル



PORT



港湾機能の強化

私たちの暮らしや経済を支える博多港。
世界とつながる国際物流拠点として港湾機能の強化を図ります。



アイランドシティ国際コンテナターミナル

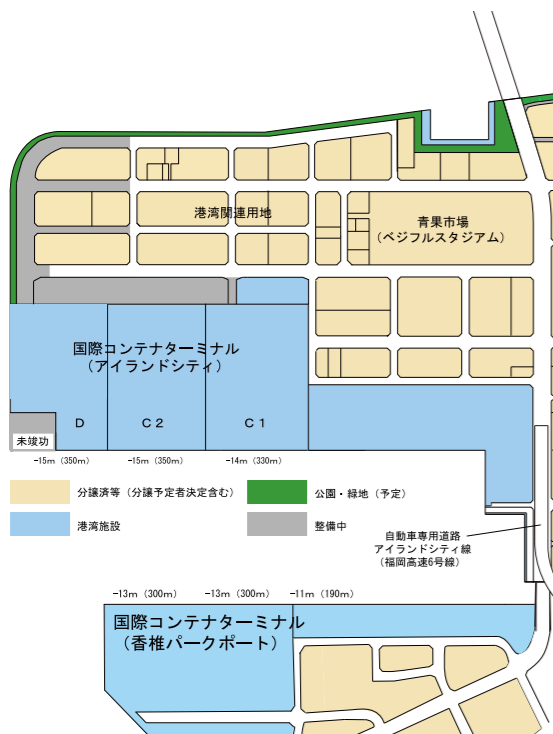
市民生活、経済活動を支える国際コンテナターミナル

アイランドシティの国際コンテナターミナルは、大型コンテナ船が同時に接岸できる最大水深15メートルの岸壁を有するとともに、環境配慮型荷役機械や物流ITシステムを積極的に導入しています。現在、博多港の国際海上コンテナの約6割をアイランドシティで取り扱っています。



国際コンテナターミナル

■博多港/国際コンテナ物流ゾーン



アイランドシティ 国際コンテナターミナルの概要

ターミナル総面積		約48.5ha
岸壁	全長	890m
	水深	-14m 1バース -15m 2バース(耐震)
コンテナクレーン	定格荷重	40.6ton
	基数	6基
	アウトリーチ	50m

物流機能の強化・集積が進む アイランドシティ

コンテナターミナル後背地の港湾関連用地には、大規模物流施設の立地が進むとともに、平成28年2月には青果市場「ベジフルスタジアム」が開場しています。

また、自動車専用道路アイランドシティ線(福岡高速6号線)が令和3年3月に開通し、広域的なネットワークが形成されています。



集積が進む物流施設

災害に強いみなとづくり

地震などの災害時や停電時においても物流を阻害することなく、コンテナターミナルの機能を維持するための取組を進めています。

高さ100mの巨大キリン

コンテナクレーンのうち1基を再塗装に合わせてキリン柄にしました。博多港の魅力がますます高まり、たくさんの方に親しまれることを期待しています。



日本初! 「港湾環境賞金賞」受賞 **脱炭素**

博多港は環境にやさしいコンテナターミナルをめざし、国や博多港ふ頭株式会社とともに、荷役機器の技術開発実験を実施しており、その取り組みが評価され、平成25年5月に開催された世界80カ国の港湾関係者でつくる国際港湾協会において、港湾環境賞金賞を日本の港では初めて受賞しました。

【取組内容】
トランスファークレーンの電動化、荷役機器のハイブリット化、災害対策(ガントリークレーンの免震化等)に取り組んでいる。

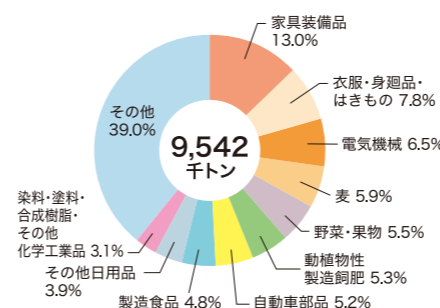


みなとと生活の関わり

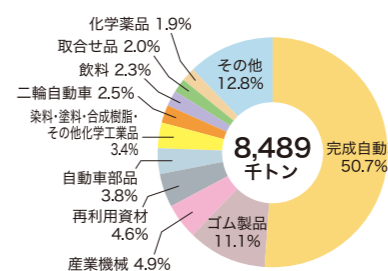
博多港は、暮らしに必要な物資を供給する国際貿易港として、世界各地の港とつながっています。主な取扱貨物は、家具、衣類、電気機械、野菜・果物、麦など生活に密着したものを数多く輸入しており、自動車、タイヤ、古紙などを世界に向けて輸出しています。

※令和6年3月現在、コンテナ定期航路により9カ国・地域の45港とダイレクト接続

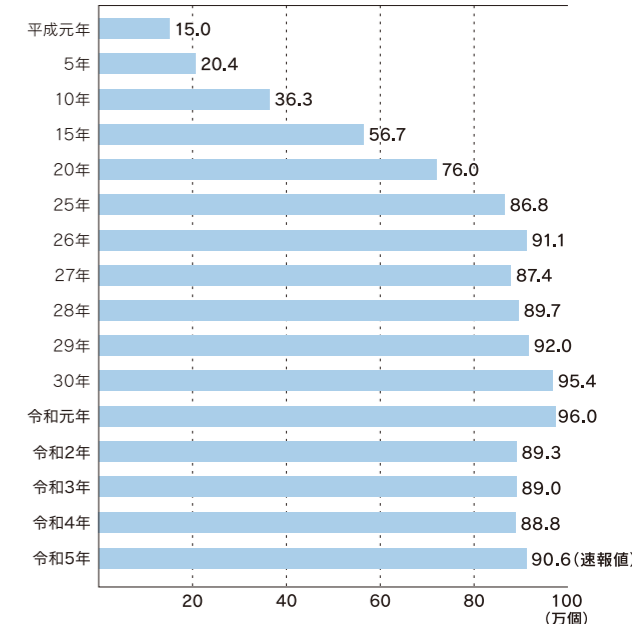
■海外から輸入している物 (令和5年速報値・博多港)



■海外へ輸出している物 (同左)



■博多港国際海上コンテナ取扱個数推移 ~令和元年は過去最高を更新~





TOWN



快適な都市空間(住環境)の形成

人と地球にやさしい住環境と活力あるコミュニティを創造します。



照葉のまち

アイランドシティのまちづくり

海と緑を身近に感じ、健やかで生き生きとした暮らしを実現する住環境の整備を進めています。



御島グリーンベイウォーク

アイランドシティと香住ヶ丘を結ぶ「あいたか橋(海上遊歩道)」が完成し、1周約3kmの周回コースができたこのエリアは多くの人が集う憩いの場となっています。海や風を感じながら自然観察、ウォーキングなどができ、健康づくりに最適です。



緑あふれるまちづくり

環境共生を実感できるまちづくりを目指し、緑の園や「アイランドシティはばたき公園」、これらを結んでいます。アイランドシティ中央公園には、雨水を利用した習施設「ぐりんぐりん」を配置し、市民の憩いの場となつています。

① アイランドシティ中央公園



② グリーンベルト



快適な親水空間の創出

まちづくりエリアの海沿いには、散策やサイクリングなどが楽しめる外周緑地や「あいたか橋(海上遊歩道)」を整備し、快適な親水空間を創出しています。

④ あいたか橋



⑤ 外周緑地



脱炭素社会の実現に向けた取組み

脱炭素

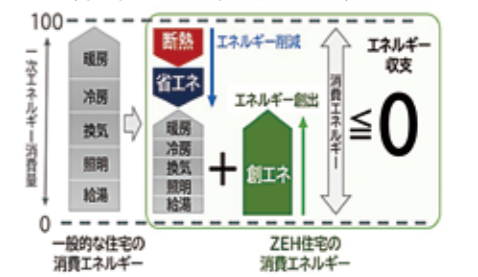
太陽光発電設備の設置やZEH*(ネット・ゼロ・エネルギーハウス)の基準を満たす住宅の開発等、環境に配慮した国内トップレベルの脱炭素型まちづくりを進めています。

※外皮の断熱性能を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現したうえで、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量を収支ゼロとすることを旨とした住宅

③ CO2ゼロ街区



ZEH(ネット・ゼロ・エネルギーハウス)のイメージ



安心・安全なまちづくり

歩行者・自転車のための空間確保や無電柱化を進めています。



教育環境の充実

一体的な小中連携教育に取り組んでいます。

⑥ 照葉小中学校・照葉北小学校

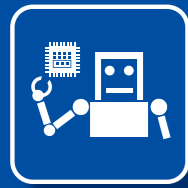




INDUSTRY



「サイバー大学」が入居するオフィスビル

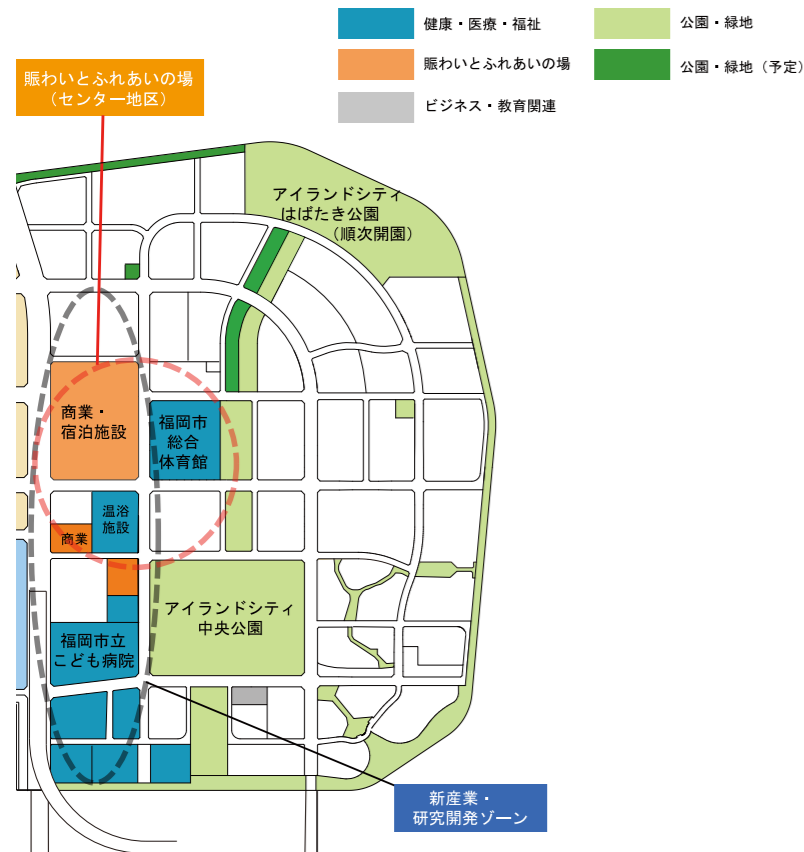


新しい産業の 集積拠点の形成

アジア・世界を見据えた新しい産業の集積拠点を形成し、福岡市の活力を創造します。

産業の集積(まちづくりエリア)

まちづくりエリアにおいては、「新産業・研究開発ゾーン」や「賑わいとふれあいの場(センター地区)」等を設定し、健康・医療・福祉関連分野などの産業集積に取り組んでいます。



健康・医療・福祉関連分野

「生活」と「産業」の両面から、生涯を通じてだれもが健康で生きいきと暮らすことができる「健康・医療・福祉のまちづくり」に取り組んでいます。



健康のまちづくり

地域と立地事業者等が共働して、健康をテーマにした住みよいまちづくりが進められています。



賑わいとふれあいの場(センター地区)

センター地区では、広域から人が集まる商業・業務機能、教育・文化・芸術の情報発信などの多様な都市機能の誘導に取り組んでいます。



ビジネス・教育関連分野

日本で初めて、全ての授業をインターネットのみで行う株式会社立の4年制大学(サイバー大学)やオフィスビルが立地しています。



みなとづくりエリア

○国際物流拠点の形成

大規模物流施設の立地が相次ぐなど、国際競争力のある物流拠点の形成が進んでいます。



○青果市場「ベジフルスタジアム」

卸売場の大半が温度管理可能な密閉式の定温卸売場となるコールドチェーンに対応した施設で高度な品質管理体制により安全で安心な青果物を供給しています。



AI活用型オンデマンドバス(のるーと)

アイランドシティでは、民間企業によるAI活用型オンデマンドバス「のるーと」の実証運行が行われています。

「のるーと」は決まったダイヤがなく、乗客のリクエストに応じてAIが適宜最適なルートを計算して走る乗り物です。スマートフォンアプリや電話で乗りたいときに予約することができます。





御島崎から望むアイランドシティ

自然との共生

周辺の豊かな自然環境を保全・創造し、美しい風景と多様な生物がみられる水辺を活かした、人と自然が共生するまちをめざします。

エコパークゾーンの整備

アイランドシティ周辺の和白山干潟を中心とした区域は、多くの野鳥が飛来するなど豊かな自然環境に恵まれています。

この貴重な自然環境を積極的に保全するため、干潟を埋め立てる計画から「島方式」の埋立計画へと変更し、さらに、アイランドシティ周辺海域を中心とした約550haのエリアを「エコパークゾーン」として、市民が豊かな自然にふれ親しむことのできる水辺空間づくりを行っています。

エコパークゾーン 約550ha



1 海の中道ゾーン

海の中道海岸は「日本の白砂青松100選」や「日本の渚100選」にも選ばれている、素晴らしい景色の場所です。

2 和白山干潟ゾーン

干潟を中心とした豊かないのちを育む空間として整備を進めており、塩浜地区では、生物が定着しやすく自然の浄化機能に優れた護岸の整備を行っています。



塩浜側

整備前

整備後

和白山干潟保全のつどい

和白山干潟で活動する市民団体と意見交換しながら、アオサの回収など自然環境を守る取組を共働で進めています。



アイランドシティはばたき公園



イメージ

渡り鳥の休息場を創出するとともに、「エコパークゾーン」の豊かな自然を実感でき、自然とふれあいながら環境について学べる場として、市民やNPOなどと関わりながら公園づくりを行っています。



クロツラヘラサギ

セイタカシギ



市民見学会で渡り鳥を観察

3 香住ヶ丘ゾーン

砂浜、磯浜などの自然海岸や緑地とふれあえる空間としての整備を行っています。



香住ヶ丘側

整備前



整備後



アイランドシティ側

自然石を使った緩傾斜護岸や、海辺に近づきやすい階段護岸などの整備を行っています。

4 御島ゾーン

神功皇后ゆかりの特色ある御島の歴史を感じ、散策や憩える空間として整備するとともに、野鳥や海生生物の生息環境の保全を行っています。



御島崎側

整備前



整備後

環境監視(環境モニタリング)

アイランドシティ整備事業においては、平成6年の着工時から、工事中海の水質や騒音についての環境監視を行い、周辺の環境に配慮しながら工事を進めています。



水質調査

「福岡市 博多港 環境監視」で検索

アマモ場づくり

エコパークゾーンでは、自然環境の保全・創出としてアマモ場づくりを行っています。アマモ場は水質や底質を改善するとともに、魚介類の産卵や稚魚のすみかとなり、「海のゆりかご」とも呼ばれています。近年は二酸化炭素の吸収・固定に寄与する「ブルーカーボン生態系」としても注目されています。



アマモに産み付けられたコウイカの卵

脱炭素